

各部会の報告（令和7年12月4日時点）

※前回の開催については、報告済みの会議は除きます。

相談支援部会

前回の開催内容報告	令和7年11月5日（水）13：30～15：30	参加人数 40名
-----------	-------------------------	----------

今月の内容は、相談支援部会と基幹研修会との合同開催で実施した。

内容としては、テーマ「相談支援専門員とは～みんなで自分達の役割を知ろう」で、相談支援専門員としての原点に返り、自分たちの役割について理解を深める機会とした。

はじめに、講義として「相談支援」って？と題して、制度上に基づく相談支援の概要説明があり、ソーシャルワークとケアマネジメントの専門性について理解することができた。

次に、実際の経験談共有として、「相談支援について、どう説明していますか？」をテーマに3つの事例報告があった。警察・弁護士との連携、包括支援センターとの連携、教育機関との連携について具体的にそれぞれが「自分たちのことを他機関にどう伝えているかを共有した。

その後はグループワークで、講義を聞いた感想やどんな相談支援専門員でありたいかを話し合い、グループ内でそれぞれが今後に向けた決意表明をおこなった。

今回の研修で、自分たちの仕事の根拠や振り返りを改めてすることや、原点に返り、基礎を学ぶことができたとの感想や意見が共通してあがっていた。

次回開催予定

令和8年1月7日（水）13：30～15：30

精神保健部会

前回の開催内容報告	令和7年11月19日（水）13：30～15：00	参加人数 22名
-----------	--------------------------	----------

今月の内容は、情報交換と話題提供、事例を通した意見交換等で、日々の関りの中で、困っていることや対応について関係機関で話し合いを行った。

話題提供として、国立帯広病院のソーシャルワーカー酒井氏より、「精神障がいの方のレスパイト入院について」のご案内と、「もの忘れ日帰り入院」の情報提供があった。

レスパイト入院とは、病気の治療ではなく、本人や家族の休息、息抜きのため、地域生活の継続を目的とするもので、実際にレスパイト入院を利用できる要件や、院内の環境等の説明があった。

次に、情報交換では、医療関係者からはインフルエンザ等の感染症流行等で、面会制限があることの報告があった。

また、児童期から成人期での移行期医療について、各病院の対応についてや、精神障がいの方で、身体疾患を持っている方の受診に繋げる困難さ等について参加者で共有を行った。

意見交換では、他機関から、利用者の古い情報提供を求められた対応に困ったケースの件で、本人の同意が基本ではあるが、個人情報の取り扱いについて判断の難しさ、取り扱いの認識の共有ができた。

次回開催予定

令和7年12月17日（水）13：30～15：00